



平成19年11月7日

各 位

会 社 名 ジーエルサイエンス株式会社  
 代 表 者 名 取締役社長 森 憲 司  
 (コード番号：7705 東証第二部)  
 問 合 せ 先 取締役管理本部長 高橋 良 彰  
 (T E L 03-5323-6633)

### 平成20年3月期通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

当社の通期業績につきまして、上期実績および最近の業績動向を踏まえ、平成19年5月14日付当社「平成19年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成20年3月期 通期連結業績予想の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	20,437	1,767	1,761	999
今回修正予想 (B)	18,495	966	957	703
増 減 額 (B-A)	△1,942	△801	△803	△295
増 減 率 (%)	△9.5	△45.3	△45.6	△29.6
(ご参考) 前期 (平成19年3月期) 実績	18,975	1,301	1,383	592

#### 2. 平成20年3月期 通期個別業績予想の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	14,980	1,440	1,468	874
今回修正予想 (B)	13,300	772	808	630
増 減 額 (B-A)	△1,680	△667	△659	△243
増 減 率 (%)	△11.2	△46.3	△44.9	△27.9
(ご参考) 前期 (平成19年3月期) 実績	13,800	1,207	1,363	723

### 3. 修正理由

修正理由につきましては、個別・連結の順で記載しております。

#### (1) 平成20年3月期通期個別業績予想の修正について

自動認識事業は売上、利益とも期初計画を達成できる見込です。

一方、分析機器事業では、国内市場の停滞から装置中心に引き続き需要は低迷すると予想され、競争の激化に伴う利益率の低下も懸念されるため業績は各項目とも期初計画を下回る見込となっております。

このため、全体で上記のとおり個別業績の予想を修正いたしました。

#### (2) 平成20年3月期通期連結業績予想の修正について

半導体事業では、当社子会社テクノオーツ株式会社（コード番号：5217）が本日平成19年11月7日発表のとおり、受注に回復の兆しが見られることから売上は相応に確保できるものの、原材料価格が高水準で推移する一方激しい受注競争が続くため売上総利益率の低迷を余儀なくされる見込です。その上中国現地法人では下期において操業度低下に伴う売上総利益率の悪化が予想されるため、業績予想の修正を行っております。

また、当社子会社 ATAS GL International B. V. は通期で黒字化できるとはいえ、期初計画を若干下回る業績を見込んでおります。

個別業績予想にこれらを総合し連結の業績予想を修正いたしました。

以 上